

学校だより



10月号

やまなみ

【学校教育目標】

- 思いやりのある子
- 進んで学ぶ子
- たくましい子

令和元年10月1日
熊谷市立太田小学校

★やさしく ★まじめに
★なかよく ★みんなで

【明治6年 創立】

練習は何のために行うのか？

9月21日(土)の太田地区合同運動会では大変お世話になりありがとうございました。天候が心配されるなか「子どもの競技・演技を主に」という考えの下、PTAや地域の皆様にはプログラム変更をお願いしました。お蔭様で、子ども達も「やりきった」という充実感を得て終了することができました。快く受け入れていただいた皆様に感謝しております。

さて、開会式でも申しましたが、運動会の練習を進めるに当たり、私は「練習は何のために行うのか？」と子ども達に投げかけました。

子ども達には進んで取り組み、「決してやらされている運動会にしてほしくない。」という思いがあったからです。

もちろん、練習を行うのは本番でよい結果を出すためであり、優れた演技を披露するためです。多くは、その1回のために努力を重ねるわけです。勝負である以上、1位とそれ以外の順位がつきます。1位になれるのは1人もしくは1チームであり、それ以外は2位以下ということになります。しかし、一生懸命に練習すれば、たとえ最良の結果が出なくても、悔しさは残りますが、充実感を抱くことや自信をつけることにつながると思えます。

今回は運動会なので1発勝負のチャンスでしたが、私たちの生活のほとんどは、何度でもチャレンジできることばかりです。「次こそは」というチャレンジ精神や意欲の源を育てることが出来ます。

「1位はとりたいたいけれど練習はそこそこに、適度に楽をして結果は最良のものを望む。」誰も辛く苦しいことは避けたいものです。しかし、辛く苦しいこと、難しいこと、面倒くさいことに取り組む中で、私たちは鍛えられ、実力を蓄えていくのだと思います。

ラグビーワールドカップ日本大会が行われています。私には日本代表の取組が「練習は何のために行うのか？」を体現しているように映ります。

日本代表選手とまではいなくても、太田小の子ども達も「練習は何のために行うのか？」を心に留め、がまん強く頑張れる子になってくれるとうれしいです。

《10月の生活目標》
つぎの授業の準備をしてから
休み時間にします。



入場行進

【特集】がんばった運動会



選手宣誓



玉入れ



デカパン競争



台風の目



組立表現



近代三種



ソーラン節



大玉送り

